

シラバス

科目名	鉄道基礎 I	担当者名	濱崎 勝明			
学科	鉄道交通科鉄道・運輸コース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数 36時間		
授業目的	鉄道会社で勤めるうえで必要な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	趣味の鉄道知識と業務の鉄道知識の違いを知る					
授業概要	鉄道法規 鉄道の分類・鉄道の長所と短所・運転取扱実施基準 信号と閉そく・動力別の分類とブレーキ装置・運行計画とその重要性 ほか					
授業 計 画 表	授業内容		授業内容			
	1 オリエンテーション	19	鉄道の長所と短所			
	2 オリエンテーション	20	鉄道の長所と短所			
	3 運転安全規範と安全綱領	21	鉄道車両の分類			
	4 運転の安全の確保に関する省令・一般準則	22	鉄道車両の動力別の分類			
	5 鉄道員としての基本	23	電気車の種類			
	6 信号・合図・標識	24	減速装置			
	7 運転取扱実施基準 係員とは	25	粘着ブレーキの種類			
	8 列車と車両 停車場外の本線の運転	26	非粘着ブレーキの種類			
	9 運転時刻と停止位置	27	鉄道のダイヤ			
	10 退行運転と推進運転	28	運行計画とその重要性			
	11 閉そく	29	線路			
	12 代用閉そく	30	電路			
	13 鉄道事業者の分類	31	車体・台車			
	14 軌間の種類 改軌	32	鉄道員としての心構え			
	15 鉄道の電化方式	33	振り返り			
	16 交流電化のメリット・デメリット	34	おさらいとまとめ			
	17 直流区間と交流区間	35	期末テスト			
	18 鉄道の概況	36	1年の振り返り			
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート		成績評価	出席率80%以上		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》70% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》					
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発に従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加 元小田急電鉄運転士/新規事業開発・ライセンス管理担当/鉄道グッズ開発担当を経て現職					

シラバス

科目名	観光英語 I	担当者名	鈴木 良、岡崎 志織			
学科	鉄道交通科鉄道・運輸コース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 72時間		
授業目的	観光に関する英語、単語、パンフレットの読み方、Listening、会話を学習する。					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	10月までは、観光に関する英語を学習する傍ら、観光英検3級合格を目指して、Listening、Readingになれるよう指導する。 10月～2月は文法を交えて、観光英語をさらに深めて、会話練習を行いながら、仕事に役立つ英語を習得できるようにする。					
授業概要	教科書はEnglish for Tourism Basic、観光英語過去問、Listeningの問題集などを使って、総合的な英語力を養う。					
授業 計 画 表	授業内容		授業内容			
	1 オリエンテーション、自己紹介、観光英検について説明	19	試験解説 Unit 10 Vocabulary, Conversation, Listening,			
	2 Unit 1 Travel Vocabulary	20	Unit 10 Vocabulary, Conversation, Listening, 過去問 観光英検試験対策			
	3 Unit 1 Travel Conversation, Listening, Reading, Writing	21	Unit 11 Vocabulary, Conversation, Listening, 過去問 観光英検試験対策			
	4 Unit 2 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading、観光英検過去問	22	観光英検試験直前対策 過去問			
	5 Unit 2 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading、観光英検過去問	23	Additional Unit 1 Reading, Questions, 文法 Listening			
	6 Unit 3 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading、観光英検過去問	24	Additional Unit 2 Reading, Questions, 文法 Listening			
	7 Unit 3 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading, Reading、観光英検過去問	25	Additional Unit 3 Reading, Questions, 文法 Listening			
	8 Unit 3 Review Unit 4 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading	26	Additional Unit 4 Reading, Questions, 文法 Listening			
	9 Unit 4 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	27	Additional Unit 5 Reading, Questions, 文法問題、Listening			
	10 Unit 5 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	28	Additional Unit 6 Reading, Questions, 文法問題、Listening			
	11 Unit 5 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	29	Additional Unit 7 Reading, Questions, 文法問題、Listening			
	12 Unit 6 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	30	Additional Unit 8 Reading, Questions, 文法問題、Listening			
	13 Unit 6 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	31	Additional Unit 9 Reading, Questions, 文法 Listening			
	14 Unit 7 Review、Unit 8 Vocabulary, Conversation, Listening, 過去問	32	Additional Unit 10 Reading, Questions, 文法 Listening			
	15 Unit 7 Vocabulary, Conversation, Listening, 過去問 夏休み課題解説	33	テキスト総復習、会話練習、listening、単語テスト、文法テスト			
	16 Unit 8 Vocabulary, Conversation, Listening, Review	34	学年末試験対策			
	17 前期末試験対策 Unit 9 Vocabulary, Conversation, Listening,	35	学年末試験			
	18 前期末試験	36	学年末試験 解説			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期、後期 成績表を配布		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上、 S 90~100 A 80~89 B 70~79 C 60~69 59点以下は不合格とする		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習> A<主体的参加型学習>50% G<海外体感型学習>					
講師プロフィール	TESOL有資格者 日本航空 国際線勤務 在米6年 在独2年 グローバルの視点での授業を心がけています。					

シラバス

科目名	鉄道地理	担当者名	石井 裕副	
学科	鉄道交通科鉄道・運輸コース	授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	
授業目的	首都圏だけでなく、全国の鉄道ネットワークを覚え、鉄道業界就職後活用できるようにする			
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	自ら調べ、興味をもたす。日本各地を走る鉄道を知ることで企業研究、就活にも活かす			
授業概要	地図・時刻表を使って各自調べたこと			
授業 計 画 表	授業内容		授業内容	
	1 オリエンテーション	19	期末テスト返し、振り返り	
	2 オリエンテーション	20	東海地方の鉄道網	
	3 オリエンテーション	21	東海地方の鉄道網	
	4 日本の鉄道網の歴史	22	甲信越地方の鉄道網	
	5 日本の鉄道網の歴史	23	甲信越地方の鉄道網	
	6 九州の鉄道網	24	首都圏の鉄道網	
	7 九州の鉄道網	25	首都圏の鉄道網	
	8 四国の鉄道網	26	上越地方の鉄道網	
	9 四国の鉄道網	27	東北地方の鉄道網	
	10 中国地方の鉄道網	28	東北地方の鉄道網	
	11 中国地方の鉄道網	29	北海道の鉄道網	
	12 山陰地方の鉄道網	30	北海道の鉄道網	
	13 山陰地方の鉄道網	31	新幹線ネットワーク	
	14 関西地方の鉄道網	32	JR特急ネットワーク	
	15 関西地方の鉄道網	33	地下鉄ネットワーク	
	16 北陸地方の鉄道網	34	振り返り	
	17 北陸地方の鉄道網	35	期末テスト	
	18 期末テスト	36	1年の振り返り	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	0	成績評価	出席率80%以上
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P«課題解決型学習»60% R«実働実践型学習» A«主体的参加型学習»40% G«海外体感型学習»			
講師プロフィール	名古屋市交通局・富士急行の2者局で駅務、車掌、運転士、指導運転士、助役を経験。実務経験に基づいた指導に務めます。			

シラバス

科目名	鉄道安全 I	担当者名	濱崎 勝明			
学科	鉄道交通科鉄道・運輸コース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数 36時間		
授業目的	安全に関する正しい理解を実務を通じて学ぶ					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	事実に基づいた情報を分析できる能力を磨く 安全について正しい概念、鉄道で使われている専門用語の意味を理解する 実務から事故を分析し、防ぐための手段を議論し、自分の意見を述べることができる					
授業概要	運輸安全委員会の事故調査報告書を研究する ケース別事例分析 事故を防ぐポイントの研究 当事者、被害者やその家族、鉄道側の担当者など、それぞれの視点に経って事故の影響や悲惨さについて学ぶ					
授業 計 画 表	授業内容		授業内容			
	1 オリエンテーション①	19	事例研究③-1 運輸安全委員会のレポートを分析			
	2 オリエンテーション②	20	事例研究③-2 運輸安全委員会のレポートを分析			
	3 オリエンテーション③	21	事例研究④-1 運輸安全委員会のレポートを分析			
	4 鉄道の歴史① 幹線、支線、明治時代の運輸事情	22	事例研究④-2 運輸安全委員会のレポートを分析			
	5 信号機の仕組み 自動閉塞式の解説	23	事例研究 三河島事故			
	6 事例研究①-1 運輸安全委員会のレポートを分析	24	事例研究 信楽高原鉄道事故			
	7 事例研究①-2 運輸安全委員会のレポートを分析	25	ロールプレイ① 事例を実際にロールプレイで体験			
	8 事例研究②-1 運輸安全委員会のレポートを分析	26	現場見取り図の作成①			
	9 事例研究②-2 運輸安全委員会のレポートを分析	27	現場見取り図の作成① グループごとに事故現場の見取り図を作成			
	10 ニュースの信憑性とソースの分析① 特定の事故に関して、信頼できるニュースと信頼できないニュースを探す	28	現場見取り図の作成② グループごとに事故現場の見取り図を作成			
	11 ニュースの信憑性とソースの分析② 生徒が各自探してきたニュースの正確性、発信元、ソースを分析する	29	取扱を学ぶ① 鉄道に関する技術上の基準を定める省令の研究			
	12 事例 あなたはどう感じるか 事故の直接原因になった人の視点で、事故を分析して考える	30	取扱を学ぶ② 鉄道に関する技術上の基準を定める省令(解釈基準)の研究			
	13 用語解説① 確認とは何か	31	振り返りと、整理①			
	14 用語解説② 安全とは何か	32	振り返りと、整理②			
	15 事例研究 尼崎事故	33	期末テスト			
	16 踏切の種類 第一種から四種までの踏切 法律や症例での決まりなどについて研究	34	レポート提出			
	17 ロールプレイ 事故事例を実際の状況で学ぶ	35	レポート返却			
	18 ロールプレイ テスト 事故に対する自らの考えをレポート提出	36	まとめ			
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	口頭試問、レポート提出		
	学習態度・出席率	20%				
	レポート	40%	成績評価	出席率70%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>20% R<実働実践型学習>40% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>0%					
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発に従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加 元小田急電鉄運転士/新規事業開発・ライセンス管理担当/鉄道グッズ開発担当を経て現職					

シラバス

科目名	鉄道基礎 I	担当者名	濱崎 勝明			
学科	鉄道交通科鉄道ビジネス・大学コース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数 36時間		
授業目的	鉄道会社で勤めるうえで必要な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	趣味の鉄道知識と業務の鉄道知識の違いを知る					
授業概要	鉄道法規 鉄道の分類・鉄道の長所と短所・運転取扱実施基準 信号と閉そく・動力別の分類とブレーキ装置・運行計画とその重要性 ほか					
授業 計 画 表	授業内容		授業内容			
	1 オリエンテーション	19	鉄道の長所と短所			
	2 オリエンテーション	20	鉄道の長所と短所			
	3 運転安全規範と安全綱領	21	鉄道車両の分類			
	4 運転の安全の確保に関する省令・一般準則	22	鉄道車両の動力別の分類			
	5 鉄道員としての基本	23	電気車の種類			
	6 信号・合図・標識	24	減速装置			
	7 運転取扱実施基準 係員とは	25	粘着ブレーキの種類			
	8 列車と車両 停車場外の本線の運転	26	非粘着ブレーキの種類			
	9 運転時刻と停止位置	27	鉄道のダイヤ			
	10 退行運転と推進運転	28	運行計画とその重要性			
	11 閉そく	29	線路			
	12 代用閉そく	30	電路			
	13 鉄道事業者の分類	31	車体・台車			
	14 軌間の種類 改軌	32	鉄道員としての心構え			
	15 鉄道の電化方式	33	振り返り			
	16 交流電化のメリット・デメリット	34	おさらいとまとめ			
	17 直流区間と交流区間	35	期末テスト			
	18 鉄道の概況	36	1年の振り返り			
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート		成績評価	出席率80%以上		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》70% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》					
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発に従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加 元小田急電鉄運転士/新規事業開発・ライセンス管理担当/鉄道グッズ開発担当を経て現職					

シラバス

科目名	観光英語 I		担当者名	鈴木 良、岡崎 志織				
学科	鉄道交通科鉄道ビジネス・大学コース		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間			
授業目的	観光に関する英語、単語、パンフレットの読み方、Listening、会話を学習する。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	10月までは、観光に関する英語を学習する傍ら、観光英検3級合格を目指して、Listening、Readingになれるよう指導する。 10月～2月は文法を交えて、観光英語をさらに深めて、会話練習を行いながら、仕事に役立つ英語を習得できるようにする。							
授業概要	教科書はEnglish for Tourism Basic、観光英語過去問、Listeningの問題集などを使って、総合的な英語力を養う。							
授業 計 画 表	授業内容			授業内容				
	1	オリエンテーション、自己紹介、観光英検について説明	19	試験解説 Unit 10 Vocabulary, Conversation, Listening,				
	2	Unit 1 Travel Vocabulary	20	Unit 10 Vocabulary, Conversation, Listening, 過去問 観光英検試験対策				
	3	Unit 1 Travel Conversation, Listening, Reading, Writing	21	Unit 11 Vocabulary, Conversation, Listening, 過去問 観光英検試験対策				
	4	Unit 2 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading、観光英検過去問	22	観光英検試験直前対策 過去問				
	5	Unit 2 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading、観光英検過去問	23	Additional Unit 1 Reading, Questions, 文法 Listening				
	6	Unit 3 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading、観光英検過去問	24	Additional Unit 2 Reading, Questions, 文法 Listening				
	7	Unit 3 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading, Reading、観光英検過去問	25	Additional Unit 3 Reading, Questions, 文法 Listening				
	8	Unit 3 Review Unit 4 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading	26	Additional Unit 4 Reading, Questions, 文法 Listening				
	9	Unit 4 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	27	Additional Unit 5 Reading, Questions, 文法問題、Listening				
	10	Unit 5 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	28	Additional Unit 6 Reading, Questions, 文法問題、Listening				
	11	Unit 5 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	29	Additional Unit 7 Reading, Questions, 文法問題、Listening				
	12	Unit 6 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	30	Additional Unit 8 Reading, Questions, 文法問題、Listening				
	13	Unit 6 Vocabulary, Conversation, Listening, Reading 過去問	31	Additional Unit 9 Reading, Questions, 文法 Listening				
	14	Unit 7 Review、Unit 8 Vocabulary, Conversation, Listening, 過去問	32	Additional Unit 10 Reading, Questions, 文法 Listening				
	15	Unit 7 Vocabulary, Conversation, Listening, 過去問 夏休み課題解説	33	テキスト総復習、会話練習、listening、単語テスト、文法テスト				
	16	Unit 8 Vocabulary, Conversation, Listening, Review	34	学年末試験対策				
	17	前期末試験対策 Unit 9 Vocabulary, Conversation, Listening,	35	学年末試験				
	18	前期末試験	36	学年末試験 解説				
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期、後期 成績表を配布				
	学習態度・出席率	40%						
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上、S 90~100 A 80~89 B 70~79 C 60~69 59点以下は不合格とする				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》50% G《海外体感型学習》							
講師プロフィール	TESOL有資格者 日本航空 国際線勤務 在米6年 在独2年 グローバルの視点での授業を心がけています。							

シラバス

科目名	鉄道地理	担当者名	石井 裕副	
学科	鉄道交通科鉄道ビジネス・大学コース	授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	
授業目的	首都圏だけでなく、全国の鉄道ネットワークを覚え、鉄道業界就職後活用できるようにする			
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	自ら調べ、興味をもたす。日本各地を走る鉄道を知ることで企業研究、就活にも活かす			
授業概要	地図・時刻表を使って各自調べたこと			
授業 計 画 表	授業内容		授業内容	
	1 オリエンテーション	19	期末テスト返し、振り返り	
	2 オリエンテーション	20	東海地方の鉄道網	
	3 オリエンテーション	21	東海地方の鉄道網	
	4 日本の鉄道網の歴史	22	甲信越地方の鉄道網	
	5 日本の鉄道網の歴史	23	甲信越地方の鉄道網	
	6 九州の鉄道網	24	首都圏の鉄道網	
	7 九州の鉄道網	25	首都圏の鉄道網	
	8 四国の鉄道網	26	上越地方の鉄道網	
	9 四国の鉄道網	27	東北地方の鉄道網	
	10 中国地方の鉄道網	28	東北地方の鉄道網	
	11 中国地方の鉄道網	29	北海道の鉄道網	
	12 山陰地方の鉄道網	30	北海道の鉄道網	
	13 山陰地方の鉄道網	31	新幹線ネットワーク	
	14 関西地方の鉄道網	32	JR特急ネットワーク	
	15 関西地方の鉄道網	33	地下鉄ネットワーク	
	16 北陸地方の鉄道網	34	振り返り	
	17 北陸地方の鉄道網	35	期末テスト	
	18 期末テスト	36	1年の振り返り	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	0	成績評価	出席率80%以上
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》60% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》40% G《海外体感型学習》			
講師プロフィール	名古屋市交通局・富士急行の2者局で駅務、車掌、運転士、指導運転士、助役を経験。実務経験に基づいた指導に務めます。			

シラバス

科目名	鉄道安全 I	担当者名	濱崎 勝明			
学科	鉄道交通科鉄道ビジネス・大学コース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数 36時間		
授業目的	安全に関する正しい理解を実務を通じて学ぶ					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	事実に基づいた情報を分析できる能力を磨く 安全について正しい概念、鉄道で使われている専門用語の意味を理解する 実務から事故を分析し、防ぐための手段を議論し、自分の意見を述べることができる					
授業概要	運輸安全委員会の事故調査報告書を研究する ケース別事例分析 事故を防ぐポイントの研究 当事者、被害者やその家族、鉄道側の担当者など、それぞれの視点に経って事故の影響や悲惨さについて学ぶ					
授業 計 画 表	授業内容		授業内容			
	1 オリエンテーション①	19	事例研究③-1 運輸安全委員会のレポートを分析			
	2 オリエンテーション②	20	事例研究③-2 運輸安全委員会のレポートを分析			
	3 オリエンテーション③	21	事例研究④-1 運輸安全委員会のレポートを分析			
	4 鉄道の歴史① 幹線、支線、明治時代の運輸事情	22	事例研究④-2 運輸安全委員会のレポートを分析			
	5 信号機の仕組み 自動閉塞式の解説	23	事例研究 三河島事故			
	6 事例研究①-1 運輸安全委員会のレポートを分析	24	事例研究 信楽高原鉄道事故			
	7 事例研究①-2 運輸安全委員会のレポートを分析	25	ロールプレイ① 研究事例を実際にロールプレイで体験			
	8 事例研究②-1 運輸安全委員会のレポートを分析	26	現場見取り図の作成①			
	9 事例研究②-2 運輸安全委員会のレポートを分析	27	現場見取り図の作成① 現場見取り図の作成① グループごとに事故現場の見取り図を作成			
	10 ニュースの信憑性とソースの分析① 特定の事故に関して、信頼できるニュースと信頼できないニュースを探す	28	現場見取り図の作成② グループごとに事故現場の見取り図を作成			
	11 ニュースの信憑性とソースの分析② 生徒が各自探してきたニュースの正確性、発信元、ソースを分析する	29	取扱を学ぶ① 鉄道に関する技術上の基準を定める省令の研究			
	12 事例 あなたはどう感じるか 事故の直接原因になった人の視点で、事故を分析して考える	30	取扱を学ぶ② 鉄道に関する技術上の基準を定める省令(解釈基準)の研究			
	13 用語解説① 確認とは何か	31	振り返りと、整理①			
	14 用語解説② 安全とは何か	32	振り返りと、整理②			
	15 事例研究 尼崎事故	33	期末テスト			
	16 踏切の種類 第一種から四種までの踏切 法律や症例での決まりなどについて研究	34	レポート提出			
	17 ロールプレイ 事故事例を実際の状況で学ぶ	35	レポート返却			
	18 テスト 事故に対する自らの考えをレポート提出	36	まとめ			
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	口頭試問、レポート提出		
	学習態度・出席率	20%				
	レポート	40%	成績評価	出席率70%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>20% R<実働実践型学習>40% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>0%					
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発に従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加 元小田急電鉄運転士/新規事業開発・ライセンス管理担当/鉄道グッズ開発担当を経て現職					